

テーマ：神の家族がますます一致において成長していくために

○教会に欠かせない一致に関して：

1. 一致のための動機(1)
2. 一致の特徴(2)
3. 一致の _____ (3-4)
 - 1) 自分のことのみ _____ (3a)

▶「自己中心」

※ヤコブ 3:14-16

「しかし、もしあなたがたの心の中に、苦いねたみと敵対心(利己的な思い)があるならば、誇ってはいけません。真理に逆らって偽ることになります。そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。ねたみや敵対心(利己的な思い)のあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行いがあるからです。」

▶「虚栄」(「 _____ 」“ケノス”+「 _____ 」“ドクサ”)

※ヤコブ 4:1-2

「何が原因で、あなたがたの間に戦いや争いがあるのでしょうか。あなたがたのからだの中で戦う欲望が原因ではありませんか。あなたがたは、ほしがっても自分のものにならないと、人殺しをするのです。うらやんでも手に入れることができないと、争ったり、戦ったりするのです。…」

「プライドは蔓延している悪です。どこにでも存在し、様々な形で表れます。認めたくないかもしれませんが、私たちは皆、誰もが高慢さを抱えています。問題は『私はそれを持っているか?』ではなく、『どこにそれがあるか?』そして『どれだけそれを持っているか?』なのです。」(スチュアート・スコット)

- 2) 自分のことについて _____ (3b)

「新約聖書の時代以前、『謙遜』という言葉には、否定的な意味合いがあった。この言葉は頻繁に用いられ、特に奴隷の心理を表現するときによく使われた。これは卑しい、能力のない、みすぼらしい、卑劣で、何の価値もないといった様子を伝えるものだった。それゆえに、『謙遜』は異教徒にとって求めるべき美德とは見なされなかったのだ。」

※マルコ 10:42-45

「そこで、イエスは彼ら呼び寄せて、言われた。「あなたがたも知っているとおり、異邦人の支配者と認められた者たちは彼らを支配し、また、偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。しかし、あなたがたの間では、そうでありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、みなの上になりなさい。人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」」

▶「思いなさい」

※1 コリント 15:9-10

「私は使徒の中では最も小さい者であって、使徒と呼ばれる価値のない者です。なぜなら、私は神の教会を迫害したからです。ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。…」

※1 テモテ 1:15-16

「『キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世に来られた』ということばは、まことであり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。しかし、そのような私があわれみを受けたのは、イエス・キリストが、今後彼を信じて永遠のいのちを得ようとしている人々の見本にしようと、まず私に対してこの上ない寛容を示してくださったからです。」

「さて、こう考えてみてください。あなたは他の誰よりも、自分自身の心の罪について知っていますよね？では、もし私たちが直接得た情報に基づいて話をするなら、これまでにあなたが会ってきた中で最悪の罪人は誰ですか？それはあなたです。最も腐敗した心の持ち主は誰ですか？もしあなたが正直であれば、自分だと言うでしょう。なぜなら、他の誰かの心に何があるのかあなたには分からないからです。親愛なる友よ。あなたは他の人を自分よりも優れていると考えるのに十分な情報をもう既に持っているのです。」(ジョン・マッカーサー)

3) 自分のことではなく _____ (4)

▶「顧みなさい」(“スコペオ”)